

2026年5月13日

各位

三井住友ファイナンス&リース株式会社

新環境目標「SMFL Group Sustainability Action Plan」の策定について

三井住友ファイナンス&リース株式会社（代表取締役社長：今枝 哲郎、以下「SMFL」）は、2022年度に設定した「中長期環境目標」の成果を踏まえ、カーボンニュートラルに向けたさらなる取り組みを進めるために、新環境目標「SMFL Group Sustainability Action Plan」を策定したことをお知らせします。

策定背景

当社はこれまで、2025年度を最終年度とする「中長期環境目標」に基づき、脱炭素社会の実現に向けた取り組みを推進してまいりました。昨今、気候変動問題への対応はより一層の加速が求められており、企業の持続可能性は経営の最重要課題となっています。

今回、SMFLグループは従来の目標をさらに一歩進め、より透明性が高い国際基準（パリ協定「1.5°C水準」）に準拠した目標設定を行うとともに、カーボンクレジットによる自主的オフセットから直接的なGHG排出量の排出削減へと軸足を移し、実効性の高い取り組みを推進してまいります。また、新環境目標ではGHG排出量の削減を軸とした目標に主眼を置き、「中長期環境目標」のサステナブル関連ビジネスの拡大については重要事項（マテリアリティ）のKPIに移管することといたしました。

新環境目標「SMFL Group Sustainability Action Plan」

SMFLグループは、2030年度までの中間目標として「連結グループでScope1,2を42%削減（2024年度比）」、「Scope3および社会のGHG削減に寄与する目標」を掲げ、2050年までのカーボンニュートラル達成を目指します。

Scope3および社会のGHG削減に寄与する目標では、トランスポーターションビジネスにおける航空機の新型機材比率80%以上を目指します。不動産事業ではSMFLおよび戦略子会社のSMFLみらいパートナーズ株式会社が保有する物件の排出量（Scope3カテゴリ13）の算定・開示に取り組みます。また、地球環境事業では、国内太陽光持分発電出力1.5GWの達成を目指すことで、再生可能エネルギーの普及を促進し、GHG排出量の削減に貢献します。

GHG削減貢献のための行動計画では、サーキュラーエコノミービジネスにおけるGHG削減貢献量の計測、および部門間・グループ間連携におけるSAFビジネスへの取り組みを推進し、脱炭素社会の実現に向けた実効性のある取り組みをSMFLグループ全体で進めてまいります。

SMFLグループは、新環境目標「SMFL Group Sustainability Action Plan」の取り組みを通じて、自社に加え、サプライチェーン全体、また、社会全体のGHG排出量削減に貢献し、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

SMFL Group Sustainability Action Plan

2030年	連結グループでScope1、2を42%削減（2024年度比）	
	Scope 3および社会のGHG削減に寄与する目標	Scope3削減に寄与する目標
		航空 ・ 新型機材比率80%以上に向上 不動産 ・ SMFL+SMFLみらいパートナーズ保有分のScope 3 カテゴリ13の算定、開示の実施
		社会のGHG削減に寄与する目標
	地球環境 ・ 国内太陽光持分発電出力1.5GWの達成	
	GHG削減貢献のための行動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ サークラーエコノミービジネスにおけるGHG削減貢献量の計測 ・ 部門間・グループ間連携によるSAFビジネスへの取組み推進
2050年	カーボンニュートラル達成（Scope1、2、3）	

以 上

【お問い合わせ先】

三井住友ファイナンス&リース株式会社 広報 IR 部 渡邊・清水 TEL 03-5219-6334